

## 「韓国高校生の九州における日韓歴史文化交流探訪」(招聘プログラム)の記録 (対象国：韓国，テーマ：異文化受容・おもてなし・絆)

### 1. プログラム概要

韓国より日韓歴史文化交流に高い関心を持つ高校生等 21 名が、1 月 17 日から 26 日までの 9 泊 10 日の日程で来日し、「異文化受容・おもてなし・絆」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行はまず、「日韓高校生間の両国の歴史文化社会事情に関するシンポジウム」と交流会、講義聴講を経て、福岡・熊本・佐賀・長崎を視察しました。このうち、特に福岡ではホームビジットや行政機関訪問(太宰府市)、熊本では地震で被災したエリアのフィールドワークを行い、佐賀・長崎では各地の「異文化受容」の歴史を学びました。

この間、各自の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の活動報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プランについて各人が発表しました。

**【訪問地】福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県**

### 2. 日程

1 月 17 日(木)

入国(福岡国際空港)、福岡女学院にてオリエンテーション

1 月 18 日(金)

【交流】「日韓高校生間の両国の歴史文化社会事情に関するシンポジウム」、歓迎昼食会、  
【視察】福岡女学院キャンパス、【講義】「感謝の交歓 - 将来の堅固な日韓友好関係の確立を願いつつ - 」

1 月 19 日(土)

【視察】太宰府天満宮、九州国立博物館、大野城跡および水城跡

1 月 20 日(日)

【交流】福岡女学院の生徒・卒業生・教員・職員の家庭でホームビジット体験

1 月 21 日(月)

【表敬】太宰府市役所(楠田大蔵太宰府市長と質疑応答)、熊本へ移動、【視察】阿蘇エリア(阿蘇大橋と阿蘇神社の復興状況について)

1 月 22 日(火)

【視察】益城町(東無田地区訪問/被災後の状況や復興に向けた取り組みを学習)、熊本城・水前寺成趣園

1月23日(水)

佐賀県へ移動,【視察・体験】(有田町) 泉山磁石場, 陶山神社, 有田ポーセリングパーク(有田焼絵付体験),

長崎県へ移動,【視察】「潜伏キリシタン関連遺産群」(長崎出津教会)

1月24日(木)

【視察】大浦天主堂, グラバー園, 「潜伏キリシタン関連遺産群」(原城跡, 南有馬キリシタン遺産記念館, 島原城)

1月25日(金)

福岡へ移動, 閉会式・感想報告会・送別会

1月26日(土)

出国(福岡国際空港)

### 3. プログラム記録写真



1月18日【交流】「日韓高校生間の両国の歴史文化社会事情に関するシンポジウム」(福岡県福岡市)



1月18日【交流】福岡女学院高校の各クラスで交流(福岡県福岡市)



1月19日【視察】太宰府天満宮・九州国立博物館(福岡県太宰府市)



1月21日【表敬】太宰府市役所(楠田大蔵太宰府市長と質疑応答)(福岡県太宰府市)



1月21日【視察】阿蘇エリア（阿蘇神社の復興状況について）  
（熊本県阿蘇市）



1月22日【視察】益城町（東無田地区訪問／被災後の状況や復興に向けた取り組みを学習）（熊本県上益城郡）



1月23日【視察】陶山神社  
（佐賀県西松浦郡）



1月23日【視察】「潜伏キリシタン関連遺産群」  
（長崎県長崎市）



1月24日【視察】大浦天主堂  
（長崎県長崎市）



1月24日【視察】「潜伏キリシタン関連遺産群」  
（原城跡）（長崎県南島原市）



	
<p>1月24日 【視察】「潜伏キリシタン関連遺産群」(島原城)(長崎県島原市)</p>	<p>1月25日 【交流】感想報告会・送別会(福岡県福岡市)</p>

#### 4. 参加者の感想

##### ◆ 韓国 高校生

・福岡女学院の生徒と初めて会った日、女学院の生徒達は私達を歓迎するために、日本伝統楽器の演奏とK-POP ダンスを披露してくれたが、それはとても印象深いものだった。また、思った以上に韓国文化に関心が高い生徒が多かった。たくさんの質問に対して、丁寧に答えられたらよかったが、自分の日本語力ではまともに答えられず少し残念だったものの、同じ年頃の日本人の生徒達が先に韓国語で声をかけてくれて、彼女たちの温かい気遣いが伝わり、また普段から日本について知りたかったことを日本人の生徒を通して知ることができ、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができたと思う。

・一番楽しみにしていたホームビジットの日、私はホストマザーに会った。学問と芸術にとっても造詣が深い方だった。博物館回りをして、日韓の違いとところについて話したりしながら、ホストマザーの家で寿司を一緒に食べた。それから着物体験と茶道体験をした。クレヨンシンちゃんやジブリのアニメに出て来そうな、日本の一般家庭や家屋、町、その景色はとてもきれいで、素敵な思い出になった。また、閑静で穏やかな日本の町で、猫3匹、子犬1匹と一緒に過ごした時間まで、この全ての体験ができたことをホストマザーに心から感謝したい。二十歳になったら、またお訪ねしたいと思う。

・益城町を訪ねた際、私達は町の住民達から歓迎を受けたが、その中で一人が手話を使って歓迎の意を表してくれていた。韓国手話の6割が日本手話と同じであることを、手話を習いながら知っていたので、手話での歓迎にすぐ気づくことができたが、益城町東無田はかなり小さい地域であるにも関わらず、少数者を対等に受け入れようと努めている様子で、人類愛を感じることができた。また、震災とその後の復興状況について説明を聞いたが、政府の支援金が莫大な額に上るほどの被災状況にあっても、希望

を持って頑張っている様子に、とても心が痛かったことを覚えている。

・太宰府市役所を訪ねたが、私達のために市長とたくさんの関係者が時間を割いてくださり、また質問に丁寧に回答してくださって、とても感謝している。日本は本当におもてなしが素晴らしい国だと思った。日本人の心の中に根付いているおもてなし文化について、改めて深く感じる事ができた。ゲストをここまで大切にもてなす国は日本だけではないかと、もしくは世界で日本が一番もてなしをする国ではないかと思った。韓国もこのような日本の文化を学んで、韓国の観光産業に役立てることができればと思う。

## 5. 受入れ側の感想

### ◆ 福岡女学院

・今回の「JENESYS2018」の日韓高校生交流は大成功であった。両国政府が利害を異にしていたとしても、民間レベルで相互傾聴・敬愛が起こるとすれば、まして次代を担う若人たちの間で疎通が可能な現実が起きているなら、我々は将来に希望が持てる。相互が相手の under に stand してこそ understand の平和の架け橋が可能となるからである。

### ◆ ホームビジットのホストファミリー

・今回初めてホームビジットのホストファミリーとして韓国からの女子高校生を受け入れました。短い訪問なので、出来る限りこのホームビジットが有益なものになるようにと事前に計画を立てていましたので、当日は時間の割には日本文化も体験でき、また町も散策したり、そして息子達とも話をしたりと、充実した時間になったと思います。これは団員だけでなく、私達家族にとっても本当に充実した貴重な経験ができたと思っています。このようなホストファミリーとしての経験が子供達にとってもこれからのグローバル社会を生きて行く上で活かされるなら嬉しく思います。このたびは、このような貴重な体験の機会をくださりありがとうございました。

### ◆ 福岡女学院大学 学生

・今回の日韓歴史文化交流探訪ボランティアに参加して感じたことは、日本の文化を外国の人に説明するのは難しく、私よりもむしろ韓国の子たちが知っていることの方が多かったので、もっと自国について勉強しなくてはならないということです。2020年には東京オリンピックもあり、外国の方が沢山日本を訪れるので、都市の整備だけでなく日本国民も日本のことを勉強することでより良いオリンピックになると思います。

### ◆ 受入れ側スタッフ

・プログラム全体に、日本のおもてなし精神を紹介しようとする努力がよく現れていました。お客さんを受け入れる態度や、お客さんのために準備した催しの内容、さらに訪問地の選択まで、よく企画されたプログラムでした。訪問した韓国の学生は感動



大変な状況の中でも、自分達の力で町を立て直そうとする意志と努力に感動した。また、その共同体意識は、韓国人が学ぶべきことだと思った。

地元の熊本日日新聞社の記者に取材を受けた。

城を視察。城壁から崩れ落ちた石を見て本当に残念な思いをしたが、その石をひとつひとつナンバリングして、忠実に元の場所へ復元していこうとする日本人の丁寧な仕事ぶりに敬意を表したいと思った。

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



(主な内容)

- ・将来、歴史の教師になるのが夢であり、探訪の経験は今後の進路決定に役に立ったことを発表する。
- ・経験したおもてなし文化、日本の基督教の歴史、震災の復興状況などの探訪を通じて得られた知識をまとめ、所属校の友達に紹介する。
- ・震災地の復興状況の現場視察を通じて、自然災害の深刻さを知らせ、それに対する準備や予防の策を共に考える。
- ・日本で感じた「人権」に関する感想を、女性の人権・性的少数者の人権・障害者の人権の3点に分けて発表する。
  - ⇒女性の人権面：福岡女学院のセーラー服の由来と女性の人権との関連性。
  - ⇒性的少数者の面：福岡女学院大学の図書館で所蔵されていた性的少数者の研究書籍に感動した経験。
  - ⇒障害者の面：益城町で手話でも歓迎していただいたエピソードとその感想。
- ・JENESYS 2018 を体験し、日本に対してとてもいいイメージを持つようになったこと、日本で学んだマナーと気遣いについて紹介する。
- ・日本語を第2外国語として選択している人を対象に、PPT を用いて発表する。